

I A C S W

# 岩手県社会福祉士会 ニュースレター



～No. 133 お正月特大号～



一般社団法人岩手県社会福祉士会  
〒020-0816盛岡市中野2-16-1 3A  
TEL 019-613-5505  
FAX 019-613-5506

## 「 創立30周年を超えて、その先にあるものとは… 」 会長 坂口 繁治

会員の皆様、新年おめでとうございます。

本年も会の活動へのお力添えを宜しくお願い致します。年頭の会長挨拶として、11月に開催した「創立30周年式典」での「主催者挨拶」の一部を紹介し、今後を当会の進む方向を考える機会にしていいただければ幸いと考えています。



「本日はお忙しい中、私ども岩手県社会福祉士会の創立30周年記念式典にご臨席いただき、誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

ご来賓の皆様には、平素より多岐にわたるご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。

30年前に16名で設立した当会は、現在780名を超える組織となりました。

設立宣言で掲げた、郷土の詩人宮沢賢治が「イーハトーヴォ、岩手の大地に真の豊かさをもって共生できる社会の構築を目指したい。」は、初代会長宍戸三保子様をはじめ、これまでの役員及び会員が紡いできた当会の精神の根幹と云え、今日の我が国の「地域共生社会の実現」に向けた取り組みに通じています。

現在の当会の理念、モットーでもある『つなげる・まもる・ささえる』ーイーハトーヴォ、豊かな共生社会の構築を目指してーに引き継いでいます。

30周年記念事業の趣旨である「社会福祉士の使命と当会の役割を再確認する」意味で、今日の当会の現状と課題を振り返ってみます。

現在の8つに編成したブロック体制は、会員の細やかな交流と地域の特色を生かした活動を目指しています。県央に集中した会員や県内の高速道路網の整備、デジタル化、SNSの普及等でブロック編成のあり方、退職した会員の活躍の場等が課題と認識しています。

各委員会活動も現状と課題を述べます。

- ・障がい福祉研修委員会は、障がい者相談支援従事者のための委託事業を通して、相談支援専門員、サービス管理者の質の担保を行っています。今後は、講師の確保や育成、地域でサービス提供に従事する相談支援専門員等の利用者の権利擁護等の支援に向けて一層のスキルアップが課題と云えます。

- ・地域共生社会委員会では、今日の制度の狭間や複合的課題等に向けた地域の身近な課題解決と地域づくりを目的に設置され、小委員会として「更生支援」「生活困窮者支援」「重層的生活支援」を置き、岩手県社会福祉協議会等のご指導をいただき広範囲に取り組んでいます。市町村の重層的支援体制整備事業の推進が謳われる中で、市町村行政にソーシャルワークの専門職である社会福祉士の配置や行政社会福祉士の組織化、確保、養成、研修体制の整備が課題と云えます。

- ・子ども家庭学校委員会は、「スクールソーシャルワーク派遣事業」、「キャンパスソーシャルワーク

事業」、「要対協調整担当者研修」を受託しています。その中で、子どもの権利実現とファミリーソーシャルワークの取り組み、スクールソーシャルワーカーの雇用条件の整備や確保が大きな課題と云えます。

・地域包括支援委員会は、県内の地域包括支援センターに従事する社会福祉士の質の向上とバックアップ体制の強化等をねらいに取り組んでいます。また、認定社会福祉士の認証研修である「地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修」を登録し、毎年研修を企画開催しています。今後は、研修規模を東北6県の広め一層充実することが期待されます。

・障がい委員会は、「施設事業所における障害者虐待と社会福祉士の認識」をテーマに研究を継続しています。今後、障害者を取り巻く課題を整理し、障害者の権利擁護、意思決定支援、地域移行等の幅広いテーマ設定が期待されます。

・実習指導者委員会は、「実習指導者スキルアップ研修」を定期的に行っています。盛岡医療福祉スポーツ専門学校をはじめ、社会福祉士の輩出に向けた養成校との協力、実習指導者の質の一層の向上が期待されます。

・実践研究委員会は、毎年、「実践研究発表会」を企画し、社会福祉士の行うソーシャルワークについて多くの分野の取り組みを共有する貴重な機会となっています。この発表で推薦された会員は、日本社会福祉士全国大会の分科会にエントリーする仕組みを設けています。昨年は、東京大会、今年は大分大会で発表した実績があります。この全国大会にエントリーする制度は岩手県社会福祉士会の特徴として、他県から注目されています。

・虐待対応専門職委員会は、「障がい者虐待防止研修」を企画しています。また、高齢者総合支援センターが主催する権利擁護相談に岩手弁護士会と協働し取り組んでいます。認知症高齢者や障害者に対する権利のあり方が変化する中で、専門員の一層の研鑽が必要となります。

・ユース委員会は、北東北三県合同勉強会を開催していますが、県内の若い会員の組織化、ニーズに沿った取り組みが一層期待されることです。

・生涯研修センター岩手は、「基礎研修」を企画運営し、最も多忙な委員会となっています。「個別スーパービジョン」のマッチングを行うなど、認定社会福祉士の輩出等、県内の社会福祉士の質の底上げを図っていると自負しているところです。

・権利擁護センターぱあとなあ岩手は、援助を必要とする人々の生活と権利を擁護する成年後見事業を実施しています。岩手弁護士会、岩手県司法書士会の専門職「三士会」として、当県の成年後見利用促進事業の推進に取り組んでいます。高齢化が進展する社会に向けて成年後見人等の人材の確保、成年後見制度の見直し提言等が大きな課題となっています。

委員会活動の他に、岩手県介護福祉士会との毎年の合同研修の開催、岩手県精神保健福祉士会、岩手県医療ソーシャルワーカー協会とで「ソーシャルワーク3団体」を組織し、合同研修会等を企画し、県内のソーシャルワークの推進に向けた連携・協働に取り組んでいます。

委員会の他に、自殺予防対策、災害対応等についても担当理事を配置し、取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大において、ソーシャルワークの機能や社会福祉士の業務のあり方が問われたことから、新たなソーシャルワークの実践の創造や改訂された「社会福祉士の倫理綱領」を踏まえた一層の取り組みが求められると云えます。

このように当会の多岐にわたる活動、充実し運営に発展して来た背景には、設立当初から25年の長

きに渡り、社会福祉法人岩手和敬会の運営する施設に事務局を置かせていただいたことが大きいと云えます。現場の法人職員のご理解とご協力があったのです。30周年の記念にあたり改めて岩手และ敬会には感謝を申し上げます。ありがとうございました。

そして、この30年の歩みの中で、志半ばで病でこの世を去った仲間、東日本大震災の犠牲になった仲間がいることは忘れません。あらためてご冥福を申し上げます。

現在は、事務局員2名体制で、ブロック活動、委員会活動、委託事業の管理を担っています。今後一層、会員の細かな声を受け止め事務局の役割を果たせればと思います。

今日の当県をはじめ我が国の大きな課題は、人口減少対策となっています。介護や医療、福祉の現場にもロボット化やIT化、DX、AIの普及が進展する中で、今日の複雑・多様化する生活・福祉課題の解決に向けて、ソーシャルワークのあり方や機能、役割も変化が強いられると思われます。30周年の活動を振り返り、近未来の課題を共有し、社会福祉士の存在意義を考える機会になればと思います。

今後共、当会の取り組みを見守っていただければと思います。主催者の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。2023年11月18日 岩手県社会福祉士会：坂口繁治

以上が、主催者挨拶の内容です。創立30周年を記念の趣旨である「関係機関との連携への感謝」「社会福祉士の使命と役割を再確認」「会員相互の結束」「近未来の課題の共有」を目的としました。



<記念撮影>

創立30周年にあたり、社会福祉法人岩手和敬会様、前会長千葉昭好様、前副会長式又みち様に感謝状を贈呈しました。記念講演では、講師の佐々木裕彦氏から、「福祉署」を下支えするジェネリックソーシャルワーカーが提言されました。皆さんは、この先をどのように描くでしょうか。

### 「創立30周年記念式典・講演・祝賀会」 副会長 西尾 卓樹

平成5年5月、16名からスタートした岩手県社会福祉士会は今年度30周年を迎え、去る11月18日、ご来賓、関係機関、団体、会員と120名の参加者のもと、盛大に開催されました。

区切りの年に振り返ることの重要性を確認し、後世に伝えていく、つなげていかなければと実行委員会を立ち上げ、取り組んで参りました。



<右：記念式典での感謝状贈呈>



<最終講演 佐々木裕彦氏>

式典では会長挨拶、知事及び弁護士会からのご祝辞、感謝状贈呈と厳かに進行され、記念講演では当会設立の立役者でもある佐々木裕彦氏より最終講演 part1「ジェネラリスト・ソーシャルワーク」～過去と未来との対話：諸先輩からの伝言と未来へのタスキ～ と題し、講演をいただきました。

国家資格誕生前の昭和から国家資格誕生の平成、福祉省に向けた令和とドミナントストーリーからオルタナティブストーリー

一へ、確かにタスキを受け取り、未来へつなげて参りたいと思います。

その後の祝賀会では開設当時、中心的に活躍された懐かしい方々も多く出席いただき、やはり対面が一番、あつという間の夢の時間でもありました。

至らぬ点もあったかとは思いますが、改めてご協力、ご支援をいただいた皆様方に感謝申し上げます。

「つなげる・まもる・ささえる」～イーハトーヴォ 豊かな共生社会の構築を目指して～30周年の壮年期から円熟期の40周年、50周年に向けて進んでいきましょう！



<左：120名での乾杯！>



<右：料理もちょっと  
こだわってみました>

### 「創立30周年記念研修会」の報告 会長 坂口 繁治

#### 「今こそ、社会福祉士と社会福祉士会のネットワークの発揮を！」

30周年の記念事業の第一弾として、10月14日、マリオスを会場に「創立30周年」を冠に研修会を企画しました。「地域包括支援におけるソーシャルワーカーの役割」-複合的な生活課題の解決に向けた重層的支援体制整備事業から考える-をテーマに、岩手県立大学社会福祉学部客員教授齋藤昭彦氏を講師にお招きし、60名の参加者（会場参加35名、オンライン参加25名）で、有意義な内容となりました。

研修では、Ⅰ地域共生社会・地域包括支援をめぐる政策動向、Ⅱ社会福祉法における「地域福祉の推進」と「地域共生社会の実現」、「包括的な支援体制の整備」、「重層的支援体制整備事業」の位置づけ、Ⅲ住民の複合的な生活課題の状況、Ⅳ重層的支援体制整備事業の概要と実施上の課題、Ⅴ地域包括支援におけるソーシャルワーカーの役割、Ⅵ社会福祉士及び社会福祉士会に期待すること、について話されました。

齋藤昭彦先生の地域包括支援体制における考えや提言を以下に報告します。

#### ○「重層的支援体制整備事業に係る専門職の役割について」（齋藤先生の所見）



<齋藤昭彦氏>

- ① 事業全体を担当する市町村職員には、事業全体の「司令塔」としての役割が期待されることから、社会福祉援助（ソーシャルワーク）業務も含めた相当の福祉行政経験のある「社会福祉士」等の資格を有し、特に庁内の関係 部署、庁外の関係機関・関係者との連携が十分にでき得る職員の配置が必要。
- ② 多機関協働事業の担当職員について、実施要綱では「多機関協働事業の従事者については保健医療福祉等の専門職など、適切に業務を行うことができる人材を配置することが望ましい」とされている。担当職員には、相談支援機関へのサポート・助言、支援関係機関の調整、役割分担等の役割を担うことから、社会福祉援助（ソーシャルワーク）業務等を相当期間経験した「社会福祉士」等の資格を有し、かつ、相談支援機関の専門職に対して指導的な立場となり得る者の配置が必要。

- ③ 社会福祉士には、福祉分野間の、福祉分野と他分野の、行政と民間との、行政と住民との、専門職と非専門職等との地域の多様な連携・協働を進めるための中心的役割が求められている。

### ○「行政社会福祉士」「社会福祉士会」への提言～岩手県の現状を踏まえて

1. 市町村での福祉行政専門職としての社会福祉士の採用の拡充と育成：①社会福祉士に採用の効果（メリット）の「見える化」が必要。②体系的・計画的な職場内外の研修の充実・研修プログラムの作成。③「福祉職員行政職員育成計画」の策定。
2. 社会福祉士会における包括的な支援を目指す社会福祉士に向け研修の実施：①官民、分野を超えて個別支援を基盤とした地域づくり・政策形成まで、常に広い視野を持つ社会福祉士がさらに増えることを期待。

### ○「ソーシャルワーカー、社会福祉士の出番です。」

「今こそ、社会福祉士と社会福祉士会のネットワークの発揮を！」と力強い後押しをいただいた研修でした。

以下に、参加者からのアンケートの一部を紹介します。



（アンケート1）先生のこれまでの実務実践を踏まえた講義から、地域包括支援の定義や歴史的流れを理解するとともに、現在、求められている包括的ケアのあり方について考えることができる機会となった。地域における支援体制を整備していくためには、社会福祉士が持ちうる知識・技術を発揮し力量を高めていくことの必要性、専門性が求められる役割であることを自覚していく覚悟で、やる気と経験を高め、自負を持つことが必要であることを実感した。

（アンケート2）地域生活課題解決のための包括的支援体制整備、重層的支援体制整備事業の推進を図るため、社会福祉士がスーパーバイザーとなる必要があると感じた。各取り組み実践のため、行政社会福祉士の活躍に期待したい。

（アンケート3）ソーシャルワーカーの専門性をどのように行政における体制や機能に落とし込み、生かしていくかが重要であると感じた。社会福祉士の専門性について、行政の中で広く認知してもらうことや活躍できる職場（分野・領域）を増やしていけるように、現在、業務に従事する者が存在意義をアピールしていくことも必要である。



（懇親会での様子）

その後、盛岡駅前の居酒屋を会場に 24 名の会員が参集し講師の齋藤昭彦先生を囲み懇親会を開催しました。大いに盛り上がりました。

この記念研修を通して、当会においても「行政社会福祉士の会」の立ち上げを視野に活動を考えたいと思います。





## 会員の輪 ~リレートーク~



### 「今・ここに立つ」 会員 古川 栄美子

新年明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとっても地域社会にとっても良い年となりますようお祈り申し上げます。

私は現在、滝沢市巣子の社会福祉法人松実会軽費老人ホームケアハウス巣子の施設長として勤務しております。施設長に就任したのは震災の混乱の中でした。施設の現状が元通りになるのだろうか、沿岸の状況を知り自分の出来る事はなんでもしようとか、今思えば知識も度量もない中でそんなことを考えて過ごしていた時期だったように思います。時が少し経ち、どうして管理職になっちゃったんだろう、現場の職員は楽しそうでいいなあ、と思うことが多くなりました。震災の混乱の中でしっかり考えず管理職になってしまい、利用者様やご家族様、そして職員にも申し訳ないという思いが膨らみ、辛いと思う日が多くなりました。その様な中、社会福祉士会の活動や研修会での学び、同じような志の方々との出会いの中で少しずつその考えも変わっていきました。自分自身を知り時には自分で自分を認め褒めてあげる事も大切だという想いになり、少しずつ前を見る事が出来るようになっていきました。今では、管理者として年数も立ち「貫禄」だけはついてきました。そんな私ですが、利用者様や職員と笑ったり泣いたりしながら一緒に過ごすことが好きなんだと思いますし、会員の皆様に刺激を受けながら自分のアイデンティティを大切にしていきたいと思っています。心弾む仲間との出会いや、心震える本との出会いが、私が社会福祉士として、『今、ここに立てている』ことに繋がっていると思います。周りも自分も大切にしていこうと今後は取り組んでいきたいと思っています。

ところで施設長としての勤務も長く、人前に入る事も多くなり、私がとても立派な人だと勘違いしている方々に最近お会いすることがあるので、最後に自分のプライベートを少し公開しようと思います。私は普通の農家のお母さんです。家が米農家で春先はいつも忙しいのに、いろんな総会が重なりかなりきついです。夏の休日はほぼ草刈りと野菜の出荷の手伝いで終わります。この事はウチの職員は皆知っていて採れたお野菜はおすそ分けしています。もちろん施設の草刈りも私の仕事です。秋も野菜の出荷と稲刈りで大忙しです。そして冬は、農家の仕事が無いので誘われればいつでも、どこにでも飲みに行くというのが私のライフスタイルです。余談ですが、今年是一緒にクマと農作業をしました。気が付けば近くにクマがいて双方驚きびっくりしました。我が家周辺はクマ除けにとっても明るくしていますが効き目は全くありません。共存する道を今年はずっと探って農作業をしたいと思っています。

今回は、年の離れた若き同志、社会福祉法人みちのく大寿会、下道直樹さんにバトンを繋ぎます。これからもよろしくお願いします。



## 第3回理事会報告



【日時】2023年10月21日(土)13:00~15:30

【会場】盛岡市福祉総合相談センター Web開催

【出席状況】出席数23名(理事20、相談役1、  
代理2)欠席数6名(理事5、監事2)

### 【報告事項】

- ・8/26 東北・北海道ブロック連絡協議会、仙台市。西尾副会長、坂口会長が出席。役員は研修会開催担当県が会長、次年度開催県が副会長とし、持ち回りとする。今年度の役員は会長は秋田県、副会長は山形県となる。
- ・9/2~3 日本社会福祉士会会長会議。入会促進退会抑制・次期中長期計画について、意見交換を行った。
- ・9/16 新入会員オリエンテーション・懇親会。全体的に良かった。今後も続けて欲しい。広く周知し、継続事業にして欲しい。年間計画に取り入れる。ガイドブックを作成した。新潟社福祉会から了解を得て参考にした。
- ・10/14 創立30周年記念研修会。講師から社会福祉士や会の在り方への提言があった。アンケート結果は、参考になった等の意見が多数。
- ・定款第21条3項による職務執行状況について、事務局、各ブロック、各委員会から報告。

### 【協議事項】

- (1) 創立30周年式典・記念講演・祝賀会について、25周年は記念誌発した。30周年は、実行委員会を開催し理事会に提案している。記念品のクリアファイルは全会員に配布する。
- (2) 新倫理綱領・行動規範研修会は、開催の手順(案)を説明し、賛同される。
- (3) 都道府県社会福祉士会意見聴取訪問について、11/4 日本社会福祉士会から副会長が訪問する。特に、第四期中期計画について意見等をお願いしたい。
- (4) 2023年社会福祉士東北・北海道研修大会(秋

田大会)の周知について、岩手から3人(うち1人は県立大生)、呼びかけて欲しい。

- (5) HPの整備は、各委員会の研修会報告などを掲載する。胆江ブロックからワールドカフェのデータももらい掲載する。HP充実させる。
- (6) 「災害支援体制構築WT設置」は、第1回委員会を開催し意見交換を行った。今後は、他県の災害対策の情報収集を行う。
- (7) 自殺予防ソーシャルワーク研修は、現在20人の申込み。1回研修を開催しただけでなく、自己点検の個人ワークを考える内容を入れると講師の思いである。不足している社会資源や連携できるように土台作りをしたい。自殺率はいったん減少したが、またアップし全国2位である。県士会としての役割を考える研修会とした。
- (8) 意見表明等支援事業について、児童福祉法改正に伴う事業であり、県から相談があった。委託費5,901千円であり、児童養護施設・一時保護所などを訪問し、子どもの意見を聴くことになる。研修を受講した社会福祉士などが訪問することを想定している。例えば、月2回訪問など考えられる。公募は3月にあるが、どこもないと社会福祉士会に委託になった場合はどのようなしくみがあれば良いか、考えておく。今回は情報提供のみとする。
- (9) 盛岡家庭裁判所調停委員候補者推薦について、専門職にお願いしたいとのことであり、水沢支部からも依頼があり推薦した。盛岡ブロックからも推薦したい。声掛けして欲しい。
- (10) 2024年度活動予定表について、会場等、早めに対応のこと。会場変更など対応すること。

### 【議決(承認)事項】

- (1) 日本学校ソーシャルワーク学会東北ブロック大会の共催について、共催依頼があり3万円を支出することで、全員挙手で承認される。
- (2) 会員の入会退会の承認は、8名入会について全員拍手で承認される。

## 事務局だより



### 「 寄付金受領の報告 」

11月14日(火)、創立30周年式典・記念講演・祝賀会の打ち合わせをホテルニューカーリナで開催しました。打ち合わせを終えた際に、記念講演をお願いしている講師であり、相談役の佐々木裕彦様から「創立30周年記念事業に役立ててほしい」と10万円の寄付金をお預かりしました。ニュースレターの紙面をお借りし、会員の皆様に報告します。

佐々木裕彦様は、当会の創設において発起人として中心となり、長年事務局長として会の発展に尽力されてきました。

寄せられた寄付金は理事会に報告し、30周年記念事業に使わせていただきます。

### 「 ホームページの活用 」

当会ホームページ内、[会員専用ページ](#)には下記パスワードを入力してください。

#### パスワード

『 i w a t e 2 0 2 3 』（半角英数字）

会員専用ページには、本誌のカラー版も掲載しています。

### 「 創立30周年記念品の送付 (クリアファイル) 」

創立30周年の記念品として「クリアファイル」を作成しました。会の理念でもある『つなげる・まもる・ささえる』—イーハトーヴォ、豊かな共生社会の構築を目指して— 当会のマスコットである「ぎんてつくん」のデザインにしました。デザインは、ユース委員会の協力をいただき作成しました。ニュースレターに同封しています。

会員の皆様のお手元にお届けします。ぜひご利用ください。

### 「 障がい委員会フォーラム 」

テーマ『障がい者虐待と社会福祉士の役割を考える』

1. 主旨：2022年度障がい委員会による調査「社会福祉士会を対象とした障がい者虐待の認識と実態」の集約結果を基として、フォーラム形式で社会福祉士と障がい者虐待の関りについて考える機会とする。
  2. 日時：2024年2月3日(土) 13:30~16:00
  3. 会場：ふれあいランド岩手 ふれあいホール
  4. 内容：
    - ・基調報告「虐待に関する最近の動向」  
岩手県社会福祉士会 会長 坂口繁治 氏
    - ・調査報告「社会福祉士会を対象とした障がい者虐待の認識と実態」  
障がい委員会委員 小川博敬 氏
    - ・パネリスト報告 意見交換
- ※詳細は、1月に当会のHPに掲載します。

### 「 事務局の年始休暇 」

1月4日(木)までお休みします。御用のある方は1月5日(金)以降にお願いします。

当事務局には駐車場はありません。近くにある神子田朝市の駐車場は許可を頂いているので、そちらにお停めください。近くにセブンイレブンもあるのでお買い物もできます♪

事務局営業時間 平日9:00~17:00



<記念クリアファイル>



※ 下記予定は変更になる可能性もあります。  
各研修情報等はHPに掲載しているをご覧ください。

**【2024年1月の予定】** 2023/12/13現在

|           |                       |              |
|-----------|-----------------------|--------------|
| 1月 5日(金)  | 事務局 仕事始め              |              |
| 1月 13日(土) | 第4回 理事会               | ふれあいランド岩手    |
| 1月 15日(月) | いわて福祉コンソーシアム・トークセッション | エスポワールいわて    |
| 1月 20日(土) | 独立型社会福祉士情報交換会         | ふれあいランド・ZOOM |

**【2024年2月の予定】**

|              |                                   |           |
|--------------|-----------------------------------|-----------|
| 2月 3日(土)     | 『障がい者虐待と社会福祉士の役割を考える』<br>セミナー     | ふれあいランド岩手 |
| 2月 3日(土)     | 2023年度 日本学校ソーシャルワーク学会東北<br>ブロック大会 | 岩手県立大学    |
| 2月 10日(土)    | 第5回 ぱあとなあスキルアップ研修                 | 調整中       |
| 2月 15日(木)    | 全国事務局代表者会議                        | ZOOM      |
| 2月 17日(土)    | 第6回 SSWr ネットワーク会議                 | ふれあいランド岩手 |
| 2月 23日(祝金)   | 実践研究発表会                           | ふれあいランド岩手 |
| 2月24・25日(土日) | 地域包括支援センターNW実践力養成研修               | 後日HP掲載予定  |

**【2024年3月の予定】**

|           |                       |     |
|-----------|-----------------------|-----|
| 3月 9日(土)  | 第5回 理事会               | 調整中 |
| 3月 16日(土) | 日本社会福祉士会臨時総会 設立30周年式典 | 東京  |

**【「メールによる情報一斉配信」登録の御案内】**

ホームページの他に、Web上での会員への情報提供の方法としてメールによる一斉配信を行っています。登録いただくことで、多様な情報を迅速に提供できるように考えています。

登録希望の方は下記事務局へメールでご連絡ください。

**【会員入会情報】 2023年11月30日現在（入会率全国第2位）**

| 会員数  | 増減（前月比） | 11月新入会 | 入会率    |
|------|---------|--------|--------|
| 786名 | 1名      | 2名     | 28.24% |



<編集担当> 一般社団法人岩手県社会福祉士会 事務局 山口依里  
〒020-0816 岩手県盛岡市中野二丁目 16-1SETビル 3階A  
TEL.019-613-5505 / Mail yamaguchi@iwate-csw.or.jp

# 2023年度 岩手県社会福祉士会実践研究発表会



## 【 実践研究とは？ 】

社会福祉士として、より質の高い支援を提供するためには、自らの実践を振り返り、評価・検証し、研鑽を繰り返すことで力量を向上することが大切です！

また、第三者に対して、援助の意義や効果を根拠と共に適切に説明できる能力も求められます。

さまざまな課題に取り組む社会福祉士の実践を検討し、援助活動について、一緒に考えてみませんか？

1. 日 程 2024年2月23日（祝金）13時00分～16時30分

2. 会 場 ふれあいランド岩手 2階 第1・2研修室

オンライン（Zoomアプリ使用）

※ 会場参集とオンライン参加のハイブリット形式

3. 対象者 (1) 岩手県社会福祉士会会員  
(2) 岩手県医療ソーシャルワーク協会会員 岩手県精神保健福祉士会会員  
(3) 学生（大学生・専門学校生（通信課程含む））  
(4) その他実践研究発表に関心のある方

4. 定 員 80名（受付先着順）

5. 参加費 無料

6. 申込方法 以下URLもしくはQRコードよりGoogleフォームにてお申込み下さい。

<https://forms.gle/Gcq2pDEPPPPrzPgja9>



**申込締切：2024年2月5日（月）厳守**

7. その他 オンライン参加の方には、当日使用するID・パスワード等をメールにてご連絡いたします。事前にZoomアプリのインストールをお願いいたします。

8. 連絡先 岩手県社会福祉士会事務局 山口  
〒020-0816 盛岡市中野二丁目16-1SETビル3階A号室  
TEL019-613-5505 E-mail yamaguchi@iwate-csw.or.jp

## － 実践研究発表会スケジュール（予定） －

| 時 間         | 内 容  |
|-------------|--|
| 13:00～13:10 | オリエンテーション  |
| 13:10～13:40 | 発表者：佐藤 肇人 氏（遠野市社会福祉協議会）<br>複合的課題を抱える生活困窮状態にある方のアプローチ実践について<br>－生活困窮状態の課題解決を図るために－            |
| 13:40～14:10 | 発表者：鳥居 いづみ 氏（社会福祉法人 奥州いさわ会）<br>知的障がいを持つ人が地域で暮らすための環境整備とサービス提供について<br>－北欧のパーソナルアシスタント制度に学ぶ－   |
| 14:10～14:40 | 発表者：高橋 智史 氏（地域包括支援センターみずさわ南）<br>地域公益活動を行う社会福祉法人を活用した地域支援<br>－地域住民の想いを社会福祉法人と地域包括支援センターが実現する－ |
|             | 休憩 5分間   |
| 14:45～15:15 | 発表者：佐藤 勝幸 氏（地域包括支援センターみずさわ東）<br>地域共生社会の実現に向けた社会資源の開発<br>－生涯学習を通じた生きがいきづくり実践－                 |
| 15:15～15:45 | 発表者：熊谷 香織 氏（障害者支援施設りんどう）<br>障害者支援施設職員に対する入所利用者の暮らしの認識調査<br>－地域社会との関わりを考える視点から－               |
| 15:45～16:15 | 発表者：平野 因 氏（居宅介護支援センター善）<br>地域特性から見た地域住民から望まれる社会資源について<br>－地域柄への理解と今後必要になるスキル－                |
| 16:15～16:30 | 総評・閉会  |

## 2023 年度

### 独立型社会福祉士・フリーランス社会福祉士情報交換会 開催要項

#### 1. 趣 旨

社会福祉士の職域拡大の一つとして「独立型社会福祉士」が整備されています。当会の中期計画の専門性の向上に向けて独立型社会福祉・フリーランス社会福祉士の情報交換を通して、社会福祉士の多様な活動について考える機会とする。

#### 2. 主 催 一般社団法人岩手県社会福祉士会（生涯研修センター岩手）

#### 3. 日 時 2024年1月20日（土）13：30～16：30

#### 4. 会 場 Web(Zoom ミーティング)・ふれあいランド岩手 ふれあいホール

#### 5. 参加対象者

- ①県内に登録している独立型社会福祉士
- ②フリーランスの社会福祉士
- ③独立型社会福祉士及びフリーランス社会福祉士を目指そうとする会員

#### 6. 日程及び内容

| 日 程   | 内 容   |
|-------|---|
| 13:15 | ○受付   |
| 13:30 | ○話題提供「独立型社会福祉士の現状と課題」<br>日本社会福祉士会独立型社会福祉士委員会 委員 高橋 岳志 氏   |
|       | ○実践報告・情報交換<br>テーマ「独立・フリーランス社会福祉士の存在意義を考える」<br>コーディネーター 生涯研修センター岩手 委員長 熊谷 順雅 氏<br>実践報告 独立型社会福祉士・フリーランス社会福祉士 数名 |
| 16:30 | 閉 会   |

#### 7. 参加費 無料

#### 8. 申込先

(1) 以下の Google フォームで申し込み下さい。

・申込先 URL

[https://docs.google.com/forms/d/1bRzOxX-piGZ\\_hb71o4zhuE1onucZORltybz3eWD4864/edit](https://docs.google.com/forms/d/1bRzOxX-piGZ_hb71o4zhuE1onucZORltybz3eWD4864/edit)

(2) 岩手県社会福祉士会のホームページからも申込ができます。

・「岩手県社会福祉士会」⇒「新着情報」⇒「【情報交換】独立・フリーランス社会福祉士」で確認できます。

(3) Web、会場参加を選択することが出来ます。

#### 9. 申込締め切り 2024年1月15日（月）

#### 10. 担当・問合せ先

担当：生涯研修センター岩手 委員 湊 美紀子

岩手県社会福祉士会 TEL019-613-5505 事務局：山口・伊藤

#### 11. その他

(1)Web 申込者には、1月18日(木)に参加の URL をお知らせします。

